

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I. 重点事業

1. 鍛造に関する人材育成事業 (定款第4条1号関係)

1.1 鍛造マネージャー育成塾コース (普通職業訓練 短期課程 鍛工品製造業科) の開講

受講期間：令和7年4月から令和8年3月まで

受講者：18名

教育科目：科目1 鍛造概論
科目2 鍛造品とその評価
科目3 鍛造用材料と熱処理
科目4 加工力と面圧
科目5 工具と潤滑
科目6 鍛造設備
科目7 熱間鍛造品の工程設計
科目8 鍛造及びCAE実習
科目9 精密鍛造と金型生産
科目10 設備保全技術
科目11 品質管理
科目12 工場管理
科目13 工場経営とマーケティング

1.2 鍛工品製造業実践型人材養成コース (普通職業訓練 短期課程 鍛工品製造業科) の開講

受講資格：鍛造全般の基礎知識、現場で役立つ知識を身につけたい方。

受講期間：令和7年5月から令和8年3月まで

受講者：13名

教育教科：教科1 鍛造の基礎知識
教科2 安全衛生
教科3 品質管理
教科4 鍛造設備
教科5 型鍛造
教科6 型設計
教科7 自由鍛造
教科8 冷間鍛造
教科9 検査
教科10 熱処理
教科11 生産管理
教科12 設備保全

■特別教科及びグループ討議

講義「中堅中小企業だからできる！身の丈DXと現在と未来」

講義「自己成長に向けて」

1.3 鍛造技術通信講座の開講

1) 職業訓練認定コース

- ・ 受講期間：令和7年5月～令和8年2月
- ・ 受講者数：2級…18名
- ・ 実施内容：① 添削指導（毎月30問×9回）
 - 5月 材料、材料切断及び熱処理
 - 6月 鍛造設備、機械、装置
 - 7月 型設計、金型製作・整備及び機械工作法
 - 8月 加熱、加熱装置、型潤滑剤
 - 9月 鍛造方案及び設備保全
 - 10月 型鍛造全般(1)
 - 11月 製図、図面の基礎、品質管理、欠陥及び検査
 - 12月 法規、安全衛生、電気の基礎
 - 1月 型鍛造全般(2)
- ② スクーリング(4日間、計21時間)
- ③ 修了時試験(100問)

2) 普通コース

- ・ 受講期間：令和7年5月～令和8年1月
- ・ 受講者数：44名
- ・ 実施内容：添削指導(30問×13科目)
 - 科目 1 鍛造の基礎知識
 - 科目 2 鍛造設備、機械装置
 - 科目 3 安全衛生、環境
 - 科目 4 製図、電気
 - 科目 5 鍛造加工(1)
 - 科目 6 鍛造加工(2)
 - 科目 7 鍛造加工(3)
 - 科目 8 鍛造加工(4)
 - 科目 9 検 査
 - 科目 10 熱 処 理
 - 科目 11 欠 陥
 - 科目 12 品質管理
 - 科目 13 生産管理

1.4 金属熱処理通信講座の開講

協 力：(一社)日本金属熱処理工業会

対 象 者：製造現場に従事して1～3年目の方、熱処理に関する知識を習得したい方

受講期間：令和7年8月～令和8年2月

受 講 者：18名

実施内容：1. 添削指導（6回）

毎月50問の添削問題を月初めに送付し、同月末に答案を提出。提出された答案を採点し、解説を付して返送。

【添削指導内容】

第1回 鉄鋼材料の組織及び変態（令和7年8月）

第2回 基本的熱処理（令和7年9月）

第3回 熱処理設備（令和7年10月）

第4回 熱処理設備（令和7年11月）

第5回 金属材料（令和7年12月）

第6回 金属材料の試験及び検査方法（令和8年1月）

第7回 総合テスト（令和8年2月）

2. 第1回集合講座（解説、実習）

開催日：令和7年8月4日（月）、5日（火）

場 所：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 千葉支部
高度ポリテクセンター

内 容：1. 金属材料と熱処理
2. 金属材料の試験と評価
3. 熱処理のしくみ

講 師：森 州 範 氏（高度ポリテクセンター）



1.5 鍛造設備保全マイスター育成塾の開講

柱Ⅲ：センシング技術及びIoT、AIの適用

受講者：12名

【第1回】

開 催：令和7年5月22日（木）、23日（金）

場 所：株式会社ヤマナカゴーキン

内 容：【技術動向①】・鍛造生産ラインのスマート化の現状

藤川 真一郎 氏（日産自動車株式会社）

… 鍛造生産ラインのDX化に関する事例と今後の展望について。

熱間鍛造ラインのDX事例紹介

【技術動向②】・DXに向けた鍛造設備の現状と展望

楊 明 氏（東京都立大学）

… プレス設備のDXに向けた最新の取り組み及び今後の展望

【技術動向③】・鍛造設備のDX化事例の紹介

三吉 宏治 氏（株式会社コマツ）

… 鍛造設備における可視化及びDX化の事例紹介／量産現場の

実用的な可視化・DX化の現状と課題について紹介

【技術紹介】 ・工程・設備の可視化に向けたセンシング技術

金 秀英 氏（株式会社ヤマナカゴーキン）

… 工程や設備の状態を可視化する手段としてセンシング技術の活用例

【技術紹介】 ・計測データの分析および工程モニタリング方法

金 秀英 氏（株式会社ヤマナカゴーキン）

… 計測データの分析による異常判定の事例紹介

【実 技 ①】 ・センサーを用いた工程状態の可視化

金 秀英 氏（株式会社ヤマナカゴーキン）

… 汎用PLCやデータロガーを想定したセンサー信号可視化の

方法／モニタリングシステムによる異常検知及び工程コント

ロールの仕組み

【実 技 ②】 ・鍛造工程のモニタリング

金 秀英 氏（株式会社ヤマナカゴーキン）

… 量産ラインに適用できる実用的なスマートダイセットの紹介・

デモ／フリーディスカッションによる量産ラインのDX化を進

めるための実用的なアイデアの導出

【第2回】

開 催：令和7年6月9日（月）、10日（火）

場 所：株式会社メタルアート

内 容：・鍛造工場へのIoT・DX活用事例（設備保全へのデジタル活用事例）

時田 晋吾 氏（トヨタ自動車株式会社）

・【工場見学】IoT適用設備見学（2500tプレス）

・グループディスカッション①

… 自社課題と気づき（工場見学後）

・【実 習】・各種センサーについての概要説明及び「センサー取付

→ PLC → ロギング → データ見える化」

・グループディスカッション②

… 自社課題に対する取組み検討／自社でどのように活用するか

1.6 自社でできる設備保全技術研修の開講（計5回）

主 催：一般社団法人日本鍛造協会

協 力：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター

協 賛：一般社団法人日本金属プレス工業協会／一般社団法人日本真空工業会／

一般社団法人日本鑄造協会／一般社団法人日本鑄鍛鋼会／

一般社団法人日本ダイカスト協会

ねらい：機械設備を安心して使えるように維持するには、点検箇所をはじめ交換の

タイミング、潤滑や締結などに対する正しい知識と技能が求められる。そのた

め、工具の使い方等、基礎的な要素を学んだ上で、実機での実践教育を行い、

トラブル（故障）を避けるための保守、点検、予防方法を学び、ゼロ故障管理

を習得する。

講 師：竹野 俊夫 氏（高度ポリテクセンター）

場 所：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター

受講者：22名

【第1回 締結 (12時間)】

開 催：令和7年5月19日（月）、20日（火）

- 内 容：1. 締結部品
2. ボルト、ナットのトルク管理
3. 締結部品の損傷事例



【第2回 電動機周りのメンテナンス方法 (12時間)】

開 催：令和7年6月4日（水）、5日（木）

- 内 容：1. 電動機の構造と用途
2. 電動機と軸継手の保全方法
3. 軸継手の調整不良から引き起こすトラブル
4. 電動機の点検方法と定期メンテナンス方法
5. 回転機械の振動診断方法
6. 他社でのトラブル事例

【第3回 空気圧装置のメンテナンス方法 (12時間)】

開 催：令和7年7月14日（月）、15日（火）

- 内 容：1. コンプレッサの点検方法と定期メンテナンスとは
2. 空気圧配管とエアタンクの点検方法と定期メンテナンスとは
3. エアシリンダの点検方法と定期メンテナンスとは
4. 空気圧回路による点検方法
5. エア3点セットの点検方法と定期メンテナンスとは
6. 空気圧設備を効率よくメンテナンスをするには

【第4回 油圧装置のメンテナンス方法 (12時間)】

開 催：令和7年9月8日（月）、9日（火）

- 内 容：1. 油圧タンクと油圧ポンプの点検方法と定期メンテナンスとは
2. 油圧回路と油圧機器の見方
3. 油圧シリンダの点検方法と定期メンテナンスとは
4. 油圧回路を通じてトラブルの解決方法とは
5. 油圧ポンプと電動機の軸継手メンテナンスとは
6. 他社でのトラブル事例

【第5回 生産現場に必要な管理手法（12時間）】

開 催：令和7年11月10日（月）、11日（火）

- 内 容：1. 作業手順書の作成方法
2. YES・NO フローチャートの作成方法
3. 故障事例のなぜなぜ分析
4. 専用工具・汎用工具の使い方、測定工具の使い方など

1.7 生産性向上支援訓練事業の実施（委託業務）

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の委託業務として、職業訓練（生産性向上支援訓練）業務（6テーマ）を受託。

1) 『ビジネス現場における交渉力』

実施日時：令和7年8月6日（水）

参加者：15名

講師：山本 秀行 氏（パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社）

- 内 容：1. ビジネスエゴシネーション
2. BANTA を想定した交渉術
3. 交渉戦略－交渉前の準備と実践－

2) 『経験を活かした職場の安全確保（対策編）』

実施日時：令和7年9月10日（水）

参加者：15名

講師：大槻 悦郎 氏（パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社）

- 内 容：1. 安全衛生に係る経歴の棚卸し
- ・安全衛生に関する職務経歴の再確認及び経歴の棚卸し
 - ・資格、実務経歴、強みの組み合わせ安全衛生概論
2. 機械の安全の原則
- ・災害を防ぐ基本の心得・基礎知識
 - ・機械設備の安全の原則企業における安全衛生活動
3. 機械の使用段階のリスクアセスメントとリスク低減

3) 『ものづくりの仕事のしくみと生産性向上』

実施日時：令和7年10月6日(月)

参加者：13名

講師：藤尾 翔太 氏 (株式会社日本マネジメント・リサーチ)

内容：1. ものづくりの仕事の流れ

- ・生産活動の基本とものづくりの流れ
- ・顧客満足とQCD・4Mの関係性
- ・ものづくりの基本(5S含)と生産性向上
- ・現場担当者の役割と重要性

2. ものづくり現場の現状と課題

- ・ものづくり現場の現状
- ・現場で発生する問題の種類
- ・問題解決の課題

3. ものづくりに関する業務改善

- ・問題発見と解決の基本
- ・現場改善の着眼点(ムリ・ムダ・ムラ、ECRS)
- ・現場改善の進め方(RGPDCA)

4) 『経験に基づく営業活動の見える化と継承』

実施日時：令和7年12月19日(月)

参加者：10名

講師：古賀 美恵 氏 (株式会社インソース)

内容：1. 経歴の棚卸し

- ・役割を認識する

2. 営業活動の分析と改善

- ・目標管理で組織改革を実現する
- ・営業をプロセスでマネジメントするために

3. コーチングを活用した指導法

- ・求められるマネジメント/部下をマネジメントする
- ・PDCAサイクルを徹底的に回す

1.8 機械保全技能士（電気系）3級取得に向けた技能研修講座の開講

研修内容：集合研修 1泊2日×5セット（講義回数計10回）

座学と実技試験の指導を実施、各回課題あり

受講者：5名

講座：第1回 令和7年9月10日（水）、11日（木）

- ・保全士概要、使用電気品説明（リレー、タイマー、PBS等）、配線工具取り扱い説明／配線実習

- ・課題：配線実習自己保持回路、タイマー遅延回路等

第2回 令和7年10月8日（水）、9日（木）

- ・第1回内容のレビュー、個別質問対応、学科試験対策

- ・課題1：配線実習、練習問題

課題2：リレータイマーチェック方法の説明、不具合修復

第3回 令和7年11月18日（火）、19日（水）

- ・不具合修復

- ・課題1：2025年公開後の配線実習、学科

第4回 令和7年12月10日（水）、11日（木）

- ・試験想定（タイム計測&採点）、学科試験対策

第5回 令和8年1月14日（水）、15日（木）

- ・試験想定（タイム計測&採点）、学科試験対策

1.9 技術者に知ってほしい現場の熱処理の開催（新規企画）

研修内容：熱処理する材料の種類と特徴をはじめ、熱処理の基本である焼なまし・焼ならし及び焼入れ・焼戻し、さらに製品の高性能化を図るべく高周波焼入れや各種表面処理について学ぶ。

受講者：9名

開催：令和7年6月23日（月）

講師：仁平 宣弘 氏（仁平技術士事務所 技術士（金属部門））

野村 博郎 氏（国立研究開発法人理化学研究所 大森素形材工学研究室 博士）

プログラム：1. 熱処理する材料

2. 焼なましと焼ならし

3. 焼入れと焼戻し
4. 高周波焼入れと浸炭焼入れ
5. 窒化処理、軟窒化処理など

1.10 品質確保、トラブルの未然防止、企業経営に寄与する熱処理講座（新規企画）

研修内容：材料、鍛造及び製品機能から熱処理技術を考え、品質トラブル事例を学ぶことで製品の品質各位補、品質向上のヒントが得られる。

受講者：17名

開催：令和7年10月20日（月）、21日（火）

講師：松原 章彦 氏

鈴木 達志 氏（株式会社ジェイテクトコーティング）

プログラム：1. 製品と機能、鋼種と熱処理

2. 工具の熱処理
3. 金属材料の強化機構
4. 基本的な熱処理
5. トラブル事例
6. グループワーク



1.11 第2回鍛造業若手社員海外研修会の開催

昨年11月30日～12月4日に亘り、台湾鍛造協会の協力を得て、第2回目となる鍛造業若手社員海外研修会を実施し、8名が参加、訪問先企業との交流を深めた。

訪問先企業は下記のとおり。

- ・金豊機器工業股份有限公司／天承精密鍛壓股份有限公司／申琦工業股份有限公司／
- 錫崴工業股份有限公司／盎如實業股份有限公司／振鋒企業股份有限公司／
- 精鍛機械股份有限公司／金鍛工業股份有限公司



1.12 令和7年度 リスクアセスメント研修会（オンライン）の開催

共催：（一社）日本ダイカスト協会、（一社）日本鑄造協会、（一社）日本鑄鍛鋼会

日時：令和8年3月18日（水）

参加者：37名

内 容：(1) 熱中症対策アンケート報告

(2) 講 演「気づきを与える安全衛生活動」

～安全なくして未来なし！ 危険に気づく人づくり～

講 師：大槻 悦郎 氏 (ものづくりコンサルタント)

(3) 熱中症対策に関する各社の事例報告

- ・ 日本鑄造株式会社
- ・ 友鉄工業株式会社
- ・ 株式会社アーレスティ
- ・ 万能工業株式会社

2. 鍛造に関する調査及び研究事業 (定款第4条2号関係)

2.1 労働災害実態調査の実施

令和6年(1~12月)における労働災害発生実態調査を実施し、災害発生結果をポスターにして安全週間前に会員各位に配付し、広報誌 JFA No.91 に掲載。

- ・ 調 査 対 象：140社 (回答企業…62社 回答率…44.3%)
- ・ 災害発生件数：25件 (型鍛造16件、自由鍛造1件、併業5件、リングロール3件)
- ・ 度 数 率：1.25 (令和5年 2.41)
- ・ 強 度 率：0.03 (令和5年 0.28)

2.2 エネルギー使用量 (CO₂排出量) 調査

安全衛生委員会並びにカーボンニュートラル委員会によるエネルギー使用量 (CO₂排出量) 調査を実施。結果は広報誌 JFA No.92 に掲載。

- ・ 調査対象期間：令和6年度 (令和6年4月~令和7年3月)
- ・ 調 査 内 容：①エネルギー使用量 (CO₂排出量)

回答企業 133社中 45社 (51事業所)

品目	単位	2022年度		2023年度		2024年度	
		数量	tCO ₂	数量	tCO ₂	数量	tCO ₂
揮発油	kl	101	231.3	88	201.5	109	248.9
灯油	kl	1,504	3,760.0	1,431	3,577.5	948	2,369.5
軽油	kl	901	2,360.6	935	2,449.7	917	2,401.5
A重油	kl	5,540	15,235.0	5,246	14,426.5	6,427	17,674.3
B・C重油	kl	1,178	3,651.8	1,128	3,496.8	854	2,647.4
液化石油ガス LPG	t	3,396	10,154.0	3,168	9,472.3	4,766	14,249.1
液化天然ガス LNG	t	3,165	9,463.4	3,225	9,642.8	2,318	6,929.3
その他可燃性 天然ガス	千Nm ³	403	789.9	255	499.8	6	11.8
都市ガス	千Nm ³	20,220	41,451.0	19,517	40,009.9	18,080	37,064.2
買電	千kwh	592,039	257,157.6	595,560	260,578.1	617,214	261,048.3
合計 tCO ₂		344,254.6		344,354.8		344,644.3	
総生産重量 (t/年) 合計		648,871		647,171		712,262	
1t生産あたりのCO ₂ 排出量		0.53		0.53		0.48	

②各社が実施した工程別の主な省エネ対策例

2.3 その他の調査、研究

1) 需要動向調査

需要業界団体による需要動向を広報誌 JFA No.91 に掲載。

2) 自主統計及び受注見通し調査

自主統計は毎月、受注見通し調査は、四半期ごとに実施し、適宜、これらの結果を広報誌、JFA ニュースなどで公表。

3) 経済産業省よりの調査に協力

3. 鍛造に関する技術の開発及び実用化 (定款第4条3号関係)

3.1 ISO 認証取得支援事業の推進

Net EMS を利用して認証取得された企業への支援及び情報提供。

3.2 技術研究委員会による鍛造及び鍛造関連技術記事の提供

広報誌 JFA に技術研究委員会メンバーが鍛造及び鍛造関連技術に関する記事を提供。

4. 鍛造に関する普及及び啓発事業 (定款第4条4号関係)

4.1 定期刊行物の発刊

1) 協会広報誌「JFA」の発刊 No.90～No.93

2) 「JFA ニュース」の発刊 (毎月) Vol.273～Vol.284

4.2 協会ホームページの活用

1) 諸情報の開示及び会員専用ページを運用。一般社団法人として、業務運営の透明化及び適正化を図る。

4.3 バーチャル鍛造ショールームの開示

鍛造技術をはじめ、鍛造品の優位性等、『鍛造』を広く PR することを目的に、協会ホームページ上に常設展示としたバーチャル空間を提供。

4.4 メール配信

関係省庁など行政機関の支援策や諸情報、弊会よりの緊急連絡などをいち早く案内する手段として、e-mail を有効に活用し、各種の情報を円滑且つ合理的に発信。

4.5 安全衛生標語の募集及び優秀作品のポスター配付

会員企業に安全衛生標語を募り、安全衛生環境委員会で厳選した優秀作品を広報誌 JFANo.91 に掲載するとともに、ポスターにして7月の安全週間前に配付。

【令和7年度安全衛生標語入選作品】(以下敬称略)

1等

トラブル時 止めたか 切ったか 動力源 手を出す前に指差呼称

株式会社イチタン 松崎 志織

2等

小さなうっかり 大きな代償 手順を守って安全作業 みんなで築く安全職場

株式会社イチタン 花澤 裕二

危険な作業を『しない』、『させない』、『見逃さない』、注意しあえる安全職場

株式会社イチタン 今井 規夫

3等

あっ！と感じたその作業 勇気を出して報・連・相 そこから始まるゼロ災職場

大和商事株式会社 中庭 輝子

危険に対する知識と感度 高めて築く 職場の安全

東京精密鍛造株式会社 古宇田 一行

ヒヤリをヒヤリで終わらせず すぐ対策 すぐ行動 安全第一 ゼロ災職場

株式会社明治製作所 岡崎 広大

佳作

早くやるより正確に 急いでやるより確実に ひと手間惜しまぬ作業こそ

ゼロ災害への道しるべ

アサヒフォージ株式会社 間 浩行

しない させない 見過ごさない みんなで守る 安全職場

岡田工業株式会社 大森 輝

ルールを守る・守らせる 一人ひとりが監督者 注意しあえる 大事な仲間

KAKUTA テックフォーミング株式会社 山上 陽也

危険の放置は みんなの責任 心を引き締め 安全確認 指差し呼称で 0 災害

小林鍛工株式会社 片上 徹也

安全は働くみんなを守るもの 働くみんなでつくるもの みんなで築く職場の安全

新発田鍛工株式会社 小池 正人

安全は人に頼るな！ 任せるな！ 今一度 この目この手で再確認

同和鍛造株式会社 川端 明美

「やりにくい」感じたその時 即改善 明日に危険は持ち越すな

北陸工業株式会社 岩崎 元紀

いつもの作業と過信せず 安全意識を常に持ち 皆で築こう 無災害職場

丸中鍛工株式会社 磯貝 賢二

一人ひとりが責任者 油断と過信は事故のもと みんなでつくろう安全職場

株式会社峰山鉄工所 家原 勝

「あせり」と「だろう」は事故の元 注意一秒 怪我一生

八木工業株式会社 赤尾 典宏

4.6 鍛造加工技術フェアの開催

令和7年4月16日(水)～18日(金)にかけて東京ビッグサイトで開催されたINTERMOLD2025／金型展2025／金属プレス加工技術展2025に対し、当協会は「特別協力」として「鍛造加工技術フェア」の名称を掲げて出展。今回は、当協会の初開催として「女性目線で語る鍛造の魅力」をテーマにし、鍛造業界で活躍している女性たちを「鍛造華鍊（かれん）」と称し、出展いただいた企業の女性社員に登壇いただいでトークセッションを実施。

ファシリテーター：東福鍛工株式会社 代表取締役副社長 田中 君枝 氏

登壇者：近江鍛工株式会社 製造部 矢野 美也 氏

岡田工業株式会社 品質保証部門 伊藤 梨々香 氏

株式会社ゴーシュー 営業部 永井 志保 氏

理研鍛造株式会社 技術開発部 町田 香織 氏



■出展企業（社名50音順）

近江鍛工株式会社／大塚鉄工株式会社／岡田工業株式会社／KAKUTA テックフォージグ

株式会社／株式会社ゴーシュー／阪村精圧株式会社／知多工業株式会社／東福鍛工株式会社／

日亜鍛工株式会社／フォージテックカワベ株式会社／株式会社丸富五十嵐製作所／株式会社
峰山鉄工所／株式会社ミヤジマ／理研鍛造株式会社

4.7 MF-TOKYO 2025 プレス・板金・フォーミング展に出展

昨年7月16日(水)から7月19日(土)にかけて
東京ビッグサイトにおいて開催されたMF-TOKYO
2025 プレス・板金・フォーミング展が開催され、
鍛造ゾーンとして出展。



■出展企業（社名50音順）

アサヒフォージ株式会社／アジャックストッコ・マグネサーミックジャパン株式会社／株式会社
伊藤製作所／インダクトサムグループジャパン株式会社／株式会社ウチノ／近江鍛工株式会社
／大塚鉄工株式会社／岡田工業株式会社／KAKUTA テックフォーミング株式会社／ゲルプ・
ジャパン株式会社／株式会社ゴーシュー／サムテック株式会社／株式会社シンニッタン／知多
工業株式会社／株式会社東亜鍛工所／東京精密鍛造株式会社／東京鍛造工業協同組合／東福鍛工
株式会社／凶南鍛工株式会社／浪速鉄工株式会社／日亜鍛工株式会社／株式会社日進 PREVO／
フォージテックカワベ株式会社／豊和鍛工株式会社／北陸工業株式会社／株式会社丸富五十嵐
製作所／株式会社ミヤジマ／株式会社メタルアート／八木工業株式会社

4.8 表 彰

令和7年度の被表彰者(社)は、令和7年9月25日(木)開催の第69回理事会にお
いて承認され、11月19日(水)に表彰式典を挙行政し、JFANo.93及びJFAニュース
Vol.281に掲載。

[功 労 者]

池 田 修 啓 氏 大同化学株式会社 奈良生産技術事業所 品質保証部 部長
近 藤 靖 之 氏 株式会社ニチダイ 技術部 技術推進課

[優良従業員]

青 木 広 氏 アサヒフォージ株式会社
田 中 秀 樹 氏 アサヒフォージ株式会社
川 橋 庄 栄 氏 近江鍛工株式会社
明 楽 浩 二 氏 岡田工業株式会社
長 坂 一 哉 氏 岡田工業株式会社
田 中 宣 隆 氏 株式会社栗本鐵工所

福島幹夫氏 株式会社ゴーシューホールディングス
野母徳穂氏 サムテック株式会社
小松之茂氏 サムテック株式会社
大塚和男氏 関南鍛工株式会社
梁井達也氏 関南鍛工株式会社
小久保嘉大氏 関南鍛工株式会社
青山文界氏 万能工業株式会社
西村早苗氏 株式会社峰山鉄工所
中川浩氏 株式会社メタルアート

[安全衛生事業貢献表彰]

『安全標語部門』 小林鍛工株式会社 近畿鍛工品事業協同組合 会員

[人材育成事業貢献表彰]

タンレイ工業株式会社 新潟県鍛造工業会 会員

4.9 令和7年度工場見学会を開催

開催：令和8年3月2日(月)、3日(火)

訪問先：近江鍛工株式会社 信楽工場、株式会社ゴーシュー、
株式会社 ISS 山崎機械

参加者：38名

4.10 自由鍛造及びリング鍛造交流会を開催

開催：令和7年6月19日(木)、20日(金)

訪問先：株式会社神戸製鋼所 高砂製作所、有限会社明珍本舗 鍛冶場

参加者：10名

4.11 令和7年度 鍛造設備保全マイスター認定にかかる審査会を開催

開催：令和8年2月3日(火) Web開催

内容：設備保全計画書に基づく保全活動実績の審査

候補者：阿波野 公紀氏 (株式会社メタルアート 宮崎ひむか工場)

飯島 準氏 (関南鍛工株式会社)

伊藤 力氏 (株式会社 ASAHI FORGE)

水 弘士氏 (株式会社ミヤジマ)

5. 鍛造に関する情報の収集及び提供事業（定款第4条5号関係）

5.1 国内外の技術情報及び鍛造関連資料の収集、公表

5.2 協会ホームページを活用した情報の発信

6. 関連団体等への協力事業

鍛造及び素形材関連業界団体等の事業に対する支援及び協力を実施。

6.1 第24回国際鍛造会議に参加

昨年10月5日から10日にかけて、ドイツ・フランクフルト「Kap Europa・MesseFrankfurt」において開催された第24回国際鍛造会議に出席。この度の会議は、『持続可能な未来』をテーマに、会議登録者約500名（35カ国）が集い、日本からは朝日浩司副会長以下20名が参加した。



II. 協会活動

1. 総会

第17回定時社員総会

開催：令和7年5月30日（金）

場所：KKRホテル東京

議題：【決議事項】第1号議案 令和6年度計算書類等の承認の件

- 報告事項
1. 令和6年度事業報告、公益目的支出計画実施報告の件
 2. 令和7年度事業計画、収支予算の件

2. 理事会

第67回理事会（書面決議）

提案：令和7年4月18日（金）

決議日：令和7年4月30日（水）

議題：第1号議案 令和7年度事業報告、計算書類等及び公益目的支出計画実施報告承認の件

第2号議案 令和6年度予算（案）承認の件

第3号議案 国際交流委員会 委員長選任の件

第4号議案 第17回定時社員総会招集の決定の件

開催日時：令和7年5月30日（金）14:00～

定時社員総会の目的事項

[決議事項] 1. 令和6年度計算書類等の承認

第68回理事会（書面決議）

提 案：令和7年7月29日（火）

決議日：令和7年8月20日（水）

議 題：第1号議案 会員入会承認の件

賛助会員（法人）

ムラテックフロンティア株式会社

代 表 者 マネージャー 白田 豊

所 在 地 京都市伏見区竹田向代町 136

従業員数 259 名

事業内容 オフィスソリューション事業（デジタル複合機・

ファクシミリ、セキュリティ機器等の販売並びに

工事の請負・保守サービス）

ファクトリーソリューション事業（製造業向け

生産管理ソフトウェア等、各種製品の販売並びに保守

サービス乗用車の製造、乗用車・トラックの販売等）

第69回理事会（Web）

開 催：令和7年9月25日（木）

議 題：【決議事項】 第1号議案 令和7年度被表彰者（社）候補承認の件

第70回理事会

開 催：令和7年11月19日（水）

場 所：KKR ホテル東京 11階「白鳥」

議 題：【決議事項】 第1号議案 令和7年度上期事業報告（案）承認の件

第2号議案 令和7年度上期収支決算報告（案）承認の件

第3号議案 令和7年度下期収支予測報告（案）承認の件

第4号議案 会員入会承認の件

- 【報告事項】 1. 素形材産業取引ガイドラインの改訂について（進捗状況報告）
2. 第24回国際鍛造会議開催報告
3. 海外視察団受け入れの件

第71回理事会

開 催：令和8年3月25日(水)

場 所：KKR ホテル東京 11階「白鳥」

- 議 題：【決議事項】 第1号議案 令和7年度事業報告(案)承認の件
第2号議案 令和7年度収支予測(案)承認の件
第3号議案 令和8年度事業計画(案)承認の件
第4号議案 令和8年度収支予算(案)承認の件
第5号議案 会員規定の改定(案)承認の件
第6号議案 定款変更(案)承認の件
第7号議案 理事候補者(案)承認の件
第8号議案 公益支出計画延長承認の件
第9号議案 会員入会承認の件
第10号議案 素形材産業の適正取引の推進と生産性・付加価値
向上に向けた自主行動計画承認の件

Ⅲ. 委員会活動

1. 総合企画委員会(Web)

○第22回委員会

日 時：令和7年5月20日(火)

議 題：1. 令和7年度各委員会活動計画の件

○第23回委員会

日 時：令和7年9月17日(水)

議 題：1. 令和7年度表彰式被表彰者承認の件

2. MF-TOKYO 2025 展示企画実行委員会（特別委員会）

○第4回 WG 委員会（Web）

日 時：令和7年4月24日(木)

- 議 題：1. 鍛造ゾーン申込状況について
2. ブースデザインの再案について
3. 鍛造ゾーンの企画、景品、出展者特典ノベルティについて

○第5回 WG 委員会（Web）

日 時：令和7年6月11日(水)

- 議 題：1. 鍛造ゾーン出展者特典について
2. 鍛造ゾーン企画の景品及びルールについて

○第6回 WG 委員会（Web）

日 時：令和7年7月1日(火)

- 議 題：1. 鍛造ゾーン企画の実施について
2. 会員相互交流会について

○第7回 WG 委員会（Web）

日 時：令和7年9月30日(火)

- 議 題：1. 出展者及び来場者アンケート結果について
2. 会計について
3. WG メンバー振り返り

3. NL 委員会

○第51回委員会(Web)

日 時：令和7年11月10日(月)

- 議 題：1. JFA の成り立ちについて
2. 日本工業炉協会との交流会について

○第52回委員会

日 時：令和7年12月15日(月)

場 所：中日本炉工業株式会社

- 議 題：1. 同社工場見学
2. 各協会概要紹介及び交流会

4. 市場調査委員会

○第 86 回委員会

日 時：令和 7 年 5 月 13 日(火)

場 所：名古屋・安保ホール

議 題：1. 各社よりの状況報告

○第 85 回委員会

日 時：令和 7 年 8 月 20 日(水)

場 所：愛知製鋼株式会社

議 題：1. 各社よりの状況報告

5. 安全衛生環境委員会

○第 36 回委員会(Web)

開 催：令和 7 年 5 月 8 日(木)

議 題：1. 令和 7 年度委員会活動計画について

○第 37 回委員会(Web)

開 催：令和 7 年 6 月 6 日(金)

- 議 題：1. 委員会社の安全活動紹介
2. イチオシ安全活動について
3. 企業訪問について

○第 38 回委員会(Web)

開 催：令和 7 年 10 月 16 日(木)

場 所：アサヒフォージ株式会社 土岐工場

6. 研修教育委員会

○第 62 回委員会 (Web)

開 催：令和 7 年 9 月 5 日(金)

- 議 題：1. 令和 7 年度協会表彰 優良従業員表彰推薦について
2. 令和 6 年度鍛造技術通信講座 実施報告
3. 令和 7 年度鍛造技術通信講座 経過報告

○分科会「金属熱処理通信講座」(Web)

開 催：令和7年4月15日(火)

- 議 題：1. 昨年度「金属熱処理通信講座」実施報告
2. 本年度事業について
- ・集合講座及び添削問題作成について
3. 新規セミナーについて

○分科会「鍛造マネージャー育成塾コース」

開 催：令和7年12月23日(火)

場 所：名古屋・ウインクあいち

- 議 題：1. 年度後半の予定について
2. 令和7年度 実施状況報告
3. 次年度の開講について
- (1) 最近の受講生数について
- (2) 次年度の開催について

○分科会「鍛工品製造業実践型人材養成コース」(Web)

開 催：令和8年1月26日(火)

- 議 題：1. 本年度経過報告及び実施内容について
2. 令和8年度の開講について

7. 人材育成企画立案特別委員会 (特別委員会)

○第18回委員会 (Web)

日 時：令和7年5月22日(木)、6月5日(木)、6月24日(火)

議 題：第3巡目の実施計画について

○第19回委員会

日 時：令和7年12月10日(水)

場 所：株式会社メタルアート

議 題：鍛造設備マイスター育成塾の今後の運営について

IV. 会員の異動 (3月31日時点)

1. 会員構成

正会員数	27	賛助会員数	62
法人会員	21	法人会員	60
団体会員	6 (構成会員 113)	団体会員	2